

見世蔵みせぐら（小日野屋こひのや）

この見世蔵は小日野屋（高橋家）が所有する石蔵で、商店と住宅を兼ねて長い間使用されてきた貴重な建物である。見世蔵の構造は2階建てで、大きさは間口5間×奥行3間半である。建物の外壁には徳次郎石とくじらいしが張り石として、また底ひたしの部分にも同石が用いられている。



小日野屋の創業は明治初年頃で、

徳次郎を代表する商家として栄えてきた。肥料、穀物を始め、呉服、薬品、日用雑貨、教科書など、生業・生活に関わるあらゆる商品を取り扱い、平成20年頃まで営業していた。

現在、店は営業を取り止めているが、見世蔵以外に、屋敷内には明治時代の石蔵（徳次郎石製）が3棟連結して建っているほか、離れや中庭があり、商家の文化を今に伝えている。



富屋地区まちづくり連絡協議会 令和2年建立